

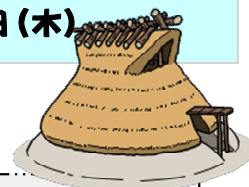


高部児童クラブ 体験授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和5年7月27日(木)



「発掘調査や遺跡の話など、子どもたちはとても静かに聞き、大変勉強になったと思います。」



高部児童クラブの3年生から6年生までの43人が、埋蔵文化財に興味をもつことを目的に、展示室の見学と勾玉作り、弓矢、火起こしの3つの体験をセンターで行いました。

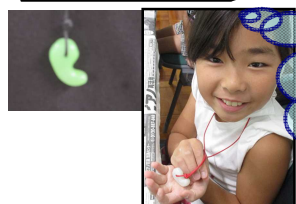
展示室の見学



展示室1～3と体験学習室の4つの部屋を見学しました。3年生から5年生は、まだ歴史の授業が始まっていないため、難しくて飽きてしまうかと思いましたが、石器や土器などを真剣に観察したり、センター職員に質問したりして、大昔に使われていた本物を目の当たりにして、意欲的に学んでいました。



勾玉作り体験



第1段階では、滑石をひたすら紙やすりで削りますが、思い通りに形ができなくて苦労しながらも、なんとか形を作りました。第2段階に入るといきなりスピードアップして、表面のキズを取り、第3段階で、表面をツルツルにしました。出来上がった勾玉を首からさげて大満足！



火起こし体験



初めての火起こしには苦労しました。まだ小さい子は力がないため、弾み車がだんだん重くなって回せなくなると、2人で協力して火きり弓を押していました。少しずつ煙が出てきて、火種が出来はじめるとまた頑張りだし、火を起こすことができました。



弓矢体験



弓矢体験も初めての子が多く、弓の弦を引き矢を放すタイミングが分からず、上手く矢を飛ばすことが出来ない子もいましたが、しばらくすると、少しずつわかってきて、標的に矢を当てることになりました。矢が当たると、飛び跳ねて喜んでいました。



指導員の感想



「子どもたちや指導者にとって大変興味深い授業でした。発掘調査や遺跡の話など、子どもたちはとても静かに聞き、大変勉強になったと思います。到着時間に遅れてご迷惑をおかけしましたが、センターの皆さんはいやな顔もせず対応していただきました。説明も体験もとても丁寧に教えていただきました。」